



岩手…アングル

ひかり。盛岡へ

雪対策試験を開始

12月16日、東北新幹線の試験車両が盛岡入り。翌17日、盛岡駅と北上駅で試験運転の出発式を行い、開業に備える本格的な雪対策試験のスタートを切った。

雪対策試験は、北上-盛岡間53kmの総合監査を兼ね、列車無線・ATC（自動列車制御装置）現示試験などを行う。その後速度向上試験に入り、営業最高速度210km/hに達するのは今月半ばの予定。

1月13日には、営業用車両が盛岡入りし、排雪装置（スノーブラウ）などの車両性能の確認や、貯雪式高架橋・散水消雪設備など地上設備のチェックが繰り返される。さらに高速すれ違い試験など本番に向けた各種試験や乗務員養成訓練が、3月末まで続けられる予定だ。（紫波郡紫波町を走るひかり号）